第52回 菅町会大運動会、完全復活開催！
声援を受け、スポーツの秋を満喫

10月6日(日)、菅町会大運動会が開催され、コロナ禍後初の昨年は短縮開催だったので今年度で完全復活しました。開始直前まで小雨がぱらつく空模様で、グラウンド状態が心配でしたが、開会時間を30分繰り下げ行われ、競技の後半には薄日も差し、各競技で熱戦が繰り広げられました。

開会式の入場行進は省略し、国旗掲揚、開会宣言、町会長挨拶のあと、前年度優勝の仙谷地区から優勝杯返還、選手宣誓があり、来賓を代表して大澤・菅社協会長の祝辞をいただき、来賓紹介、体育部長の競技上の注意、ラジオ体操と続いて競技に入りました。

競技は幼児～小学3年生までの自由参加による「スズ割」で始まりました。白・赤チームの玉がスズに沢山当たりましたが、スズがなかなか割れません。最後にナイフが入れられ決着しました。続いて幼児～小学3年生、小学4～6年生による「玉入れ」、入れた玉を数える「1、2、3、…」の掛け声でチームが一つになりました。

一般男女による綱引きの予選、9地区のトーナメント勝ち抜き戦。午後の決勝に向けての力試しです。次は小学1～6年生による集団縄跳び、心を合わせて高く飛びました。百足競争は中学1年以上、一般男女の参加。5人がリズムに合わせゴールを目指します。

午前の最後は、子ども対抗混合リレー。小学1～6年生男女12名のリレーで追いつ追われつの大接戦でした。

昼食時間帯には剣道の剣桜会による「源平合戦」や町会フラダンス教室のダンス披露、この週末には静岡県でオールジャパンベースボール中等部2024全国大会に出場する菅フェニックス野球チームの紹介がありました。

午後には空も明るく、グラウンド状態もよくなり、新競技の「大玉転がし」。小学生～一般男女参加でチームワークが試された競技でした。

次は綱引きの決勝、強いチームは勝つ極意を心得ているようです。そして幼児、小学生の徒競走と最終種目の一般男女による混合リレー。全力で走ってバトンを繋ぐ、やはり運動会の華と言える声援と興奮ぶり。

地区優勝チームは昨年と同じ仙谷チーム、2位が芝間～芝住、3位が城下と星が丘で同点、以下、北浦、馬場、天宿、野戸呂、稲田堤でした。

開会式の濃沼会長挨拶とご来賓の方々・町会役員

競技の前の「ラジオ体操」

最初の競技は「スズ割」

団結力が勝負の決めて「玉入れ」

全員の息が一つに、子ども集団縄跳び

足並み揃え、1、2、1、2の百足競争

男女混合リレーは一番の盛り上がり

地区対抗だから徒競走は順位をつけます

女性部主催「フラダンス教室」の皆さん

バランス」感覚が養われる新競技の「大玉転がし」

チームワークで力くらべ「綱引き」

自然の中で遊ぶ、第2回「子どもフェス」
大勢の親子連れが楽しむ！

「魚のつかみ取り大会」に替わる夏休みの子ども行事、第2回「子どもフェス」が自然の中で遊ぼうという趣向で7月28日(日)に稲田公園で開催され、約6百人の親子連れで賑わいました。主催は菅町会青少年部でした。

多摩区ソーシャルデザインセンターの学生さんと、北浦に道場を構えるプロレス団体「ヒートアップ」の選手らが協力してくださいました。

メインイベントの「スーパーボールすくい」では、幼児から小学生が冷たい流れのせせらぎ小川に入り、スーパーボールを追いかけました。

学生さんが担当するボーリング似のモルック、ストラックアウト、輪投げ、水鉄砲などのコーナーや、ヒートアップの選手との綱引きやチャンピオンベルトと記念撮影と大いに盛り上がり、ゲームに参加して景品やガチャをゲットし、子どもも大人も笑顔いっぱいのイベントでした。

木に吊り下がったマトに当てる水鉄砲

ストラックアウトや並んだスキットルを倒すモルック

協力の多摩区ソーシャルデザインセンターの方々

濃沼会長のあいさつ

プロレス選手との綱引き

ゲームに参加して景品やガチャをゲット

涼しいせせらぎ小川で「スーパーボールすくい」に 盛り上がる

15日・28日は何の日？

＊毎日15日は〈川崎市〉市民地震防災デー
＊毎月28日は〈多摩区〉子ども見守りの日

9月15日、菅薬師堂で伝統行事
菅の獅子舞、勇壮に活発に舞う

神奈川県の無形文化財に指定されている「菅の獅子舞」が、薬師さんの命日である9月12日に近い日曜日の15日に行われました。この日は9月とは思えない、多摩区では35度の猛暑日を記録した厳しい暑さの中、五穀豊穣などを祈願して獅子舞が奉納されました。

前日の14日(土)午後4時からは、子之神社境内で揃い獅子の奉納舞が行われ、15日には午後2時から菅薬師堂の土俵で本獅子と呼ばれる舞が奉納されました。境内にびっしり観客の見守るなか、天狗、雄獅子、雌獅子、臼獅子で「一人立ち三頭獅子」の舞、あまりの暑さの中、途中休憩をはさみ、一時間半ほどの演目を舞切りました。

現在の舞手は小中学校生の時から舞い始め、十数年舞い続けたことになります。

今年から雌獅子の舞手が現中学生に代わり、新しいメンバーでの披露になりました。

当日の午前中には、恒例の子ども相撲大会が数年ぶりに行われ、個人戦と団体戦に多くの小学生が参加し熱戦を繰り広げ、獅子舞の後子ども相撲の入賞者が表彰されました。

前日、子之神社での揃い獅子

ケンケンし背中を合わせて立つ

笛方の篠笛に合わせて舞います

雄獅子に酒を飲ませる天狗

子ども相撲の豆力士たちの熱戦

土俵せましと「飛びちがい」の舞い

八雲神社・子之神社の例祭など各所で開催
菅の祭りが大好き！

コロナ禍以後に再開された昨年に続き、今年も各所で伝統あるお祭りが開催されました。

7月13・14日は八雲神社の夏祭りで、城下、仙谷、野戸呂・天宿、芝間地区の4基の神輿にお囃子の車が先導して、連合で菅の街を練り歩き、各地区の子ども神輿と太鼓山車も街を周りました。

10月13日は子之神社の秋祭で、北浦、稲田堤、馬場の3基の神輿が連合で菅の街を練り歩く巡行で町中が活気付きました。両神社祭礼では、周辺に多くの露店が並び賑やかで、両神社境内では江戸の里神楽が奏上され、夜には歌や踊り、演奏などの地元演芸の奉納と、最後に投げ餅も行われました。

また町内の各地区では、子ども会主催で盆踊りが開催されました。7月27日の稲田堤